

フード&テクノロジー関連 株式ファンド（資産成長型） （愛称：フードテック）

運用報告書（全体版） 第7期

（決算日 2025年1月30日）
（作成対象期間 2024年7月31日～2025年1月30日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界の「フードテック」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2021年9月27日～2050年7月29日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	フードテック・マザーファンドの受益証券
	フードテック・マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）
組入制限	ベビーファンドの マザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの 株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	(分配落)	税金 分配金	期中騰落率			
3期末 (2023年1月30日)	円 8,664	円 0	% △ 2.3	% 99.2	% -	百万円 7,491
4期末 (2023年7月31日)	9,538	0	10.1	99.1	-	7,504
5期末 (2024年1月30日)	10,042	0	5.3	99.4	-	6,368
6期末 (2024年7月30日)	10,831	0	7.9	98.8	-	3,426
7期末 (2025年1月30日)	12,049	0	11.2	99.5	-	2,938

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

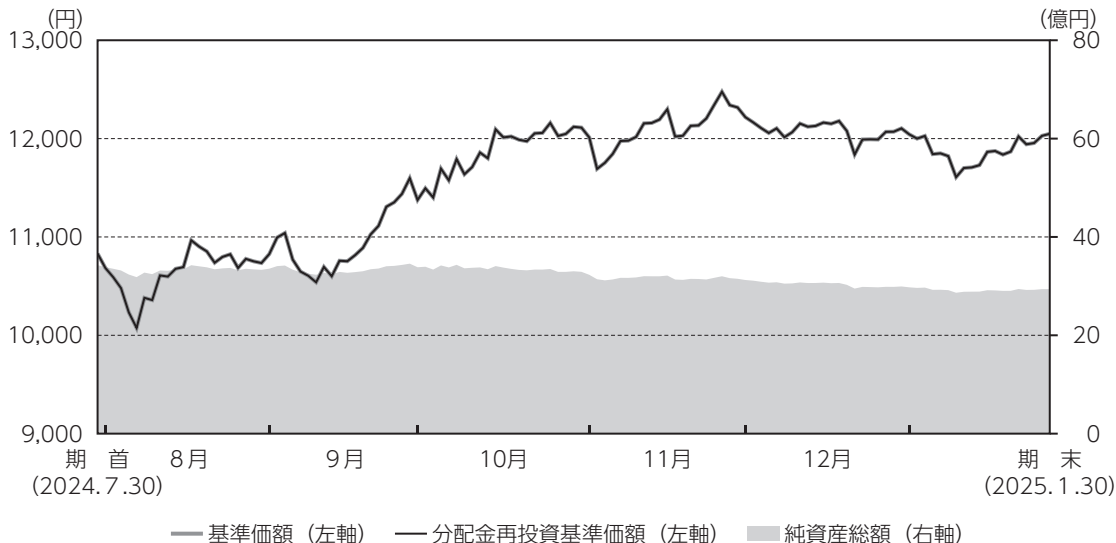
(注3) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当学期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,831円

期末：12,049円（分配金0円）

騰落率：11.2%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

世界株式市況は、おおむね上昇しました。また、投資対象通貨は円に対しておおむね上昇（円安）しました。このような環境下において、日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」関連株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※「フードテック（FoodTech）」は、食（Food）とテクノロジー（Technology）を組み合わせた造語です。食と日々進歩するテクノロジーを融合させ、イノベーションを起こす新たなビジネス領域を意味します。

フード&テクノロジー関連株式ファンド（資産成長型）

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率			
(期首) 2024年 7 月30日	円		%	%	%
	10,831		—	98.8	—
7 月末	10,684	△	1.4	98.7	—
8 月末	10,826	△	0.0	98.9	—
9 月末	11,376		5.0	99.4	—
10月末	12,012		10.9	98.5	—
11月末	12,218		12.8	98.5	—
12月末	12,043		11.2	99.6	—
(期末) 2025年 1 月30日	12,049		11.2	99.5	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2024.7.31~2025.1.30)

■世界株式市況

世界株式市況は、おおむね上昇しました。

世界株式市況は、当作成期首より、米国の対中輸出規制強化への懸念などから、半導体関連株主導で下落しました。さらに2024年8月初旬には、米国の雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後は、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆したF R B（米国連邦準備制度理事会）議長の発言などを好感して急反発すると、F R Bが0.50%ポイントの利下げを決定したことなども好感され、上昇基調で推移しました。11月初旬の米国大統領選挙でトランプ元大統領が勝利し、米国景気の先行きに対する期待が高まったことも、上昇基調を後押ししました。12月中旬には、F R Bが0.25%ポイントの利下げを決定したものの、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで長期金利が上昇し、これを嫌気して株価は小幅に下落しました。2025年1月以降は、米国の雇用統計等の強い結果を受けた金利上昇を嫌気して軟調な推移となりましたが、トランプ大統領が巨額のA I（人工知能）関連投資を発表したことを受けて投資家心理が改善し、上昇して当作成期末を迎えました。

■為替相場

為替相場は対円でおおむね上昇しました。

対円為替相場は、当作成期首より、日銀による利上げや追加利上げへの警戒感がくすぶったことなどから、円高が大きく進行しました。その後も、米国金利の低下による日米金利差の縮小や自民党総裁選挙の結果などから円高基調が継続しましたが、2024年10月に入ると、米国金利が大きく上昇したことで日米金利差の拡大が意識され、円安が大きく進行しました。11月半ば以降は、米国金利が低下に転じたことや日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことなどから、円高に転じました。しかし12月に入ると、米国金利が上昇したことや日銀が金融政策決定会合において政策金利を据え置いたことなどから、円安が進行しました。2025年1月には、日銀が追加利上げを行う可能性が高まったことで円高に転じ、当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フードテック・マザーファンド」の受益証券を通じて、日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

■フードテック・マザーファンド

日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

ポートフォリオについて

(2024.7.31~2025.1.30)

■当ファンド

「フードテック・マザーファンド」の受益証券を通じて、世界の「フードテック（FoodTech）」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざしました。

■フードテック・マザーファンド

日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築しました。

個別銘柄では、DOORDASH INC - A（米国）、ECOLAB INC（米国）、DEERE & CO（米国）などを組入上位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、信託財産の成長に資することを目的に、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年7月31日 ～2025年1月30日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	2,095

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。



今後の運用方針

■当ファンド

「フードテック・マザーファンド」の受益証券を通じて、日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

■フードテック・マザーファンド

日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2024.7.31~2025.1.30)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	82円	0.710%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,588円です。
（投 信 会 社）	(35)	(0.305)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(45)	(0.388)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.017)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	4	0.032	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(4)	(0.032)	
有 価 証 券 取 引 税	1	0.005	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(1)	(0.005)	
そ の 他 費 用	5	0.043	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(2)	(0.018)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(3)	(0.023)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	91	0.790	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

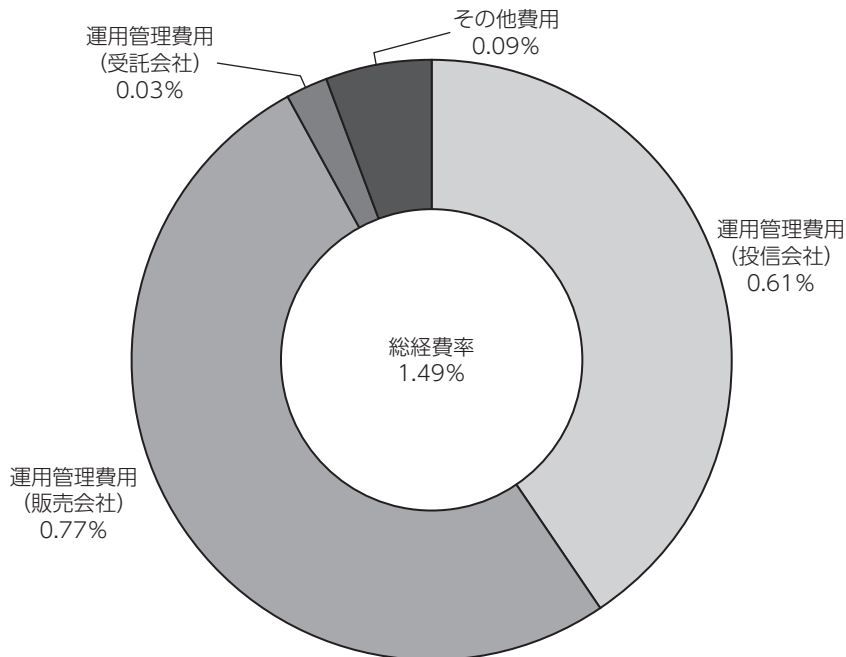
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.49%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

フード&テクノロジー関連株式ファンド（資産成長型）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年7月31日から2025年1月30日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
フードテック・マザーファンド	3,404	5,200	540,814	871,100

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2024年7月31日から2025年1月30日まで)

項 目	当 期
	フードテック・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,402,048千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,206,933千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	0.43

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円	千□	千□	千円
フードテック・マザーファンド	2,288,063	1,750,653	2,933,044			

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年1月30日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
フードテック・マザーファンド	2,933,044	98.7
コール・ローン等、その他	37,702	1.3
投資信託財産総額	2,970,747	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=154.76円、1香港ドル=19.86円、1イギリス・ポンド=192.71円、1スイス・フラン=170.76円、1デンマーク・クローネ=21.62円、1ノルウェー・クローネ=13.72円、1スウェーデン・クローネ=14.08円、1フィリピン・ペソ=2.647円、1インド・ルピー=1.80円、1ユーロ=161.34円です。

(注3) フードテック・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2,940,973千円)の投資信託財産総額(2,942,767千円)に対する比率は、99.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年1月30日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,970,747,600円
コール・ローン等	28,002,817
フードテック・マザーファンド(評価額)	2,933,044,783
未収入金	9,700,000
(B) 負債	32,159,498
未払解約金	9,403,135
未払信託報酬	22,667,915
その他未払費用	88,448
(C) 純資産総額(A-B)	2,938,588,102
元本	2,438,866,114
次期繰越損益金	499,721,988
(D) 受益権総口数	2,438,866,114口
1万口当り基準価額(C/D)	12,049円

* 期首における元本額は3,163,994,836円、当作成期間中における追加設定元本額は63,878,202円、同解約元本額は789,006,924円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,049円です。

■損益の状況

当期 自2024年7月31日 至2025年1月30日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	21,114円
受取利息	21,114
(B) 有価証券売買損益	315,937,184
売買益	380,327,940
売買損	△ 64,390,756
(C) 信託報酬等	△ 22,756,363
(D) 当期損益金(A + B + C)	293,201,935
(E) 前期繰越損益金	212,273,572
(F) 追加信託差損益金	△ 5,753,519
(配当等相当額)	(5,591,411)
(売買損益相当額)	(△ 11,344,930)
(G) 合計(D + E + F)	499,721,988
次期繰越損益金(G)	499,721,988
追加信託差損益金	△ 5,753,519
(配当等相当額)	(5,591,411)
(売買損益相当額)	(△ 11,344,930)
分配準備積立金	505,475,507

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	18,838円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	293,183,097
(c) 収益調整金	5,591,411
(d) 分配準備積立金	212,273,572
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	511,066,918
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	511,066,918
(h) 受益権総口数	2,438,866,114口

フードテック・マザーファンド

運用報告書 第5期（決算日 2025年1月30日）

（作成対象期間 2024年1月31日～2025年1月30日）

フードテック・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

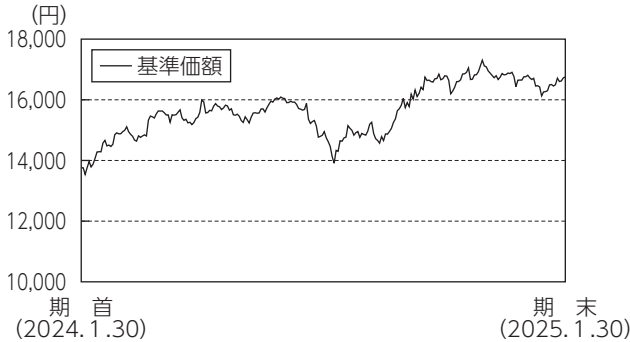
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額	騰落率	株式比率	株式先比率
	円	%	%	%
(期首) 2024年 1月30日	13,762	-	99.5	-
1月末	13,758	△ 0.0	99.8	-
2月末	14,881	8.1	99.2	-
3月末	15,628	13.6	98.6	-
4月末	15,990	16.2	98.9	-
5月末	15,254	10.8	98.8	-
6月末	16,052	16.6	99.1	-
7月末	14,748	7.2	98.8	-
8月末	14,962	8.7	99.1	-
9月末	15,742	14.4	99.5	-
10月末	16,643	20.9	98.7	-
11月末	16,948	23.2	98.7	-
12月末	16,725	21.5	99.8	-
(期末) 2025年 1月30日	16,754	21.7	99.6	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。
 (注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
 期首：13,762円 期末：16,754円 騰落率：21.7%

【基準価額の主な変動要因】

世界株式市況は、おおむね上昇しました。また、投資対象通貨は円に対しておおむね上昇（円安）しました。このような環境下において、日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」関連株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※「フードテック（FoodTech）」は、食（Food）とテクノロジー（Technology）を組み合わせた造語です。食と日々進歩するテクノロジーを融合させ、イノベーションを起こす新たなビジネス領域を意味します。

◆投資環境について

○世界株式市況

世界株式市況は、一時的な調整を挟みながらおおむね上昇しました。世界株式市況は、当作成期首より、欧米のインフレ率の予想以上の低下や製造業の景況感の改善、AI（人工知能）関連企業の良好な決算などが好感され、2024年3月末にかけて上昇しました。4月に入ると、インフレの再燃が懸念されて米国の利下げ開始が後ずれするとの見方が強まり、反落しました。4月下旬以降は、インフレ率の低下傾向を受けて利下げ期待が再び高まったことなどから上りに転じ、高成長が期待されるAI関連企業の株価急騰が相場をけん

引して高値を更新しつつ、7月半ばまで上昇基調で推移しました。しかし7月後半に入ると、米国の対中輸出規制強化への懸念などから、半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、米国の雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後は、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆したFRB（米国連邦準備制度理事会）議長の発言などを好感して急反発すると、FRBが0.50%ポイントの利下げを決定したことなども好感され、上昇基調で推移しました。11月初旬の米国大統領選挙でトランプ元大統領が勝利し、米国景気の先行きに対する期待が高まったことも、上昇基調を後押ししました。12月中旬には、FRBが0.25%ポイントの利下げを決定したものの、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで長期金利が上昇し、これを嫌気して株価は小幅に下落しました。2025年1月以降は、米国の雇用統計等の強い結果を受けた金利上昇を嫌気して軟調な推移となりましたが、トランプ大統領が巨額のAI関連投資を発表したことを受けて投資家心理が改善し、上昇して当作成期末を迎えました。

○為替相場

為替相場は対円でおおむね上昇しました。

対円為替相場は、当作成期首より、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に、円安となりました。2024年3月には、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、日本の金融市場が他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安基調が継続しました。その後も、過度な円安米ドル高進行に対して政府・日銀が為替介入を行いながら、6月末まで円安基調が継続しました。7月に入ると、日銀が7月の金融政策決定会合において緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから、大幅に円高米ドル安が進行し、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、円高が大きく進行しました。その後は、米国金利の低下による日米金利差の縮小や自民党総裁選挙の結果などから円高基調が継続しましたが、10月に入ると、米国金利が大きく上昇したことや日米金利差の拡大が意識され、円安が大きく進行しました。11月半ば以降は、米国金利が低下に転じたことや日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことなどから、円高に転じました。しかし12月に入ると、米国金利が上昇したことや日銀が金融政策決定会合において政策金利を据え置いたことなどから、円安が進行しました。2025年1月には、日銀が追加利上げを行う可能性が高まったことで円高に転じ、当作成期末を迎えました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見直し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

◆ポートフォリオについて

日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見直し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築しました。

個別銘柄では、DOORDASH INC - A（米国）、ECOLAB INC（米国）、DEERE & CO（米国）などを組入上位としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見直し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

フードテック・マザーファンド

■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (株式)	15円 (15)
有価証券取引税 (株式)	2 (2)
その他費用 (保管費用) (その他)	10 (6) (4)
合計	27

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

株式

(2024年1月31日から2025年1月30日まで)

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外	アメリカ	百株 626 (347.9)	千アメリカ・ドル 3,435 ()	百株 2,076.85	千アメリカ・ドル 27,999
	香港	百株 156 ()	千香港ドル 1,828 ()	百株 50	千香港ドル 442
国	スイス	百株 ()	千スイス・フラン (△ 5)	百株 418	千スイス・フラン 733

■ 主要な売買銘柄

株式

(2024年1月31日から2025年1月30日まで)

当				期					
買		付		売		付			
銘柄	柄	株数	金額	平均単価	銘柄	柄	株数	金額	平均単価
INTL FLAVORS & FRAGRANCES (アメリカ)		千株 10.3	千円 153,189	円 14,872	CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC (アメリカ)		千株 11.192	千円 471,367	円 42,116
MAPLEBEAR INC (アメリカ)		16	114,012	7,125	UBER TECHNOLOGIES INC (アメリカ)		39.485	447,484	11,333
TOAST INC CLASS A (アメリカ)		22.3	93,037	4,172	DOMINO'S PIZZA INC (アメリカ)		6.257	413,916	66,152
SYMRISE AG (ドイツ)		4.8	90,161	18,783	MCDONALD'S CORP (アメリカ)		8.775	375,096	42,746
STARBUCKS CORP (アメリカ)		6.1	83,632	13,710	DOORDASH INC - A (アメリカ)		18.68	362,649	19,413
CORTEVA INC (アメリカ)		6.7	53,820	8,032	ECOLAB INC (アメリカ)		8.74	302,288	34,586
DELIVERY HERO SE (ドイツ)		10	48,018	4,801	STARBUCKS CORP (アメリカ)		22.09	295,626	13,382
MEITUAN-CLASS B (ケイマン諸島)		15.6	35,671	2,286	ZOETIS INC (アメリカ)		10.39	284,723	27,403
INGREDION INC (アメリカ)		1.2	24,703	20,586	MIDDLEBY CORP (アメリカ)		11.956	251,330	21,021
					DEERE & CO (アメリカ)		4.33	250,902	57,945

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外	デンマーク	百株 ()	千デンマーク・クローネ ()	百株 130	千デンマーク・クローネ 5,380
	スウェーデン	百株 ()	千スウェーデン・クローネ ()	百株 252	千スウェーデン・クローネ 10,526
	インド	百株 ()	千インド・ルピー ()	百株 6,885	千インド・ルピー 133,988
	ユーロ (ドイツ)	百株 148 ()	千ユーロ 846 (△ 7)	百株 156	千ユーロ 729

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
外国株式

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
DOMINO'S PIZZA INC	62.57	—	—	—	一般消費・サービス
MIDDLEBY CORP	119.56	—	—	—	資本財・サービス
AGCO CORP	150.5	—	—	—	資本財・サービス
DEERE & CO	75.15	31.85	1,522	235,690	資本財・サービス
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC	16.02	252	1,468	227,250	一般消費・サービス
ZOETIS INC	152.22	48.32	822	127,290	ヘルスケア
MCDONALD'S CORP	126.85	39.1	1,134	175,548	一般消費・サービス
UBER TECHNOLOGIES INC	614.4	219.55	1,465	226,800	資本財・サービス
CORTEVA INC	225	103	669	103,611	素材
DOORDASH INC - A	285.8	99	1,839	284,637	一般消費・サービス
TOAST INC CLASS A	167	294	1,177	182,179	金融
YUM! BRANDS INC	153	33.6	434	67,167	一般消費・サービス
MAPLEBEAR INC	—	160	769	119,103	生活必需品
ECOLAB INC	150.1	62.7	1,548	239,607	素材
INGREDION INC	—	12	164	25,381	生活必需品
STARBUCKS CORP	242.25	82.35	894	138,379	一般消費・サービス
アメリカ・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	2,540.42 14銘柄	1,437.47 13銘柄	13,909 2,152,648	<73.4%>
(香港)	百株	百株	千香港ドル	千円	
MEITUAN-CLASS B	240	346	5,127	101,836	一般消費・サービス
香港ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	240 1銘柄	346 1銘柄	5,127 101,836	< 3.5%>
(スイス)	百株	百株	千スイス・フラン	千円	
SIG GROUP N AG	418	—	—	—	素材
スイス・フラン 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	418 1銘柄	— —	— < —>	
(デンマーク)	百株	百株	千デンマーク・クローネ	千円	
NOVOZYMES A/S-B SHARES	270	140	5,730	123,886	素材
デンマーク・クローネ 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	270 1銘柄	140 1銘柄	5,730 123,886	< 4.2%>
(スウェーデン)	百株	百株	千スウェーデン・クローネ	千円	
ALFA LAVAL AB	452	200	9,780	137,702	資本財・サービス
スウェーデン・クローネ 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	452 1銘柄	200 1銘柄	9,780 137,702	< 4.7%>
(インド)	百株	百株	千インド・ルピー	千円	
ZOMATO LTD	11,432	4,547	101,170	182,107	一般消費・サービス
インド・ルピー 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	11,432 1銘柄	4,547 1銘柄	101,170 182,107	< 6.2%>
ユーロ (ドイツ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
GEA GROUP AG	307	171	851	137,393	資本財・サービス
DELIVERY HERO SE	—	100	255	41,286	一般消費・サービス
SYMRISE AG	—	28	283	45,807	素材
ユーロ 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	307 1銘柄	299 3銘柄	1,391 224,488	< 7.7%>
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	15,659.42 20銘柄	6,969.47 20銘柄	— 2,922,670	<99.6%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年1月30日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 2,922,670	% 99.3
コール・ローン等、その他	20,096	0.7
投資信託財産総額	2,942,767	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=154.76円、1香港ドル=19.86円、1イギリス・ポンド=192.71円、1スイス・フラン=170.76円、1デンマーク・クローネ=21.62円、1ノルウェー・クローネ=13.72円、1スウェーデン・クローネ=14.08円、1フィリピン・ペソ=2.647円、1インド・ルピー=1.80円、1ユーロ=161.34円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産 (2,940,973千円) の投資信託財産総額 (2,942,767千円) に対する比率は、99.9%です。

フードテック・マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年1月30日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,952,411,839円
コール・ローン等	18,986,292
株式(評価額)	2,922,670,373
未収入金	9,700,000
未収配当金	1,055,174
(B) 負債	19,344,769
未払金	9,644,769
未払解約金	9,700,000
(C) 純資産総額(A - B)	2,933,067,070
元本	1,750,653,446
次期繰越損益金	1,182,413,624
(D) 受益権総口数	1,750,653,446口
1万口当り基準価額(C/D)	16,754円

* 期首における元本額は4,619,868,164円、当作成期間中における追加設定元本額は6,089,447円、同解約元本額は2,875,304,165円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 フード&テクノロジー関連株式ファンド（資産成長型） 1,750,653,446円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は16,754円です。

■損益の状況

当期 自2024年1月31日 至2025年1月30日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	36,299,237円
受取配当金	34,083,047
受取利息	2,179,911
その他収益金	36,319
支払利息	△ 40
(B) 有価証券売買損益	903,683,542
売買益	1,135,377,133
売買損	△ 231,693,591
(C) その他費用	△ 2,742,995
(D) 当期損益金(A + B + C)	937,239,784
(E) 前期繰越損益金	1,738,059,122
(F) 解約差損益金	△1,496,095,835
(G) 追加信託差損益金	3,210,553
(H) 合計(D + E + F + G)	1,182,413,624
次期繰越損益金(H)	1,182,413,624

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。